



市民課と高梁地域まちづくり推進委員会からの聞き取り

地域振興基金事業の概要と 各地域まちづくり協議会の取り組み状況について

管内行政視察 市民生活委員会

令和4年5月18日、市民生活委員会は管内行政視察を行いました。本市では新型コロナウイルス感染症まん延の影響で様々な事業や行事が中止、延期や規模縮小を余儀なくされてきました。市内各地域のまちづくり協議会も同様であることから、各地域の状況を視察しました。

各地域のまちづくり事業の財源は地域振興基金です。合併当初は27億9千万円ありましたが、これまでどのような事業に使われてきたのかということや、「高梁市地域振興基金条例」にある「住民による自主的主体的なまちづくり活動事業等を推進」することができたのかということ、各地域のまちづくり協議会長や担当者から直接伺いました。



落合小学校での授業を視察

GIGA スクールの進捗を確認 管内行政視察 総務文教委員会

令和4年5月26日、高梁市立落合小学校にてGIGAスクール、一人一台端末の授業の状況と取り組みについて視察を行いました。中山間地域のため小規模校の多い高梁市ですが、小中学校におけるICTの活用は県内トップクラス、毎日の授業で端末機器を使った授業が行われています。授業を見学するにあたり、小学校からは校長先生より動画による説明を受けました。当日はGIGAスクールサポートの横山弘毅さんが参加してくださり現状と課題についても丁寧な説明を受けることができました。「高梁市は小規模校が多くマイナスのイメージが強いのだが、その特色を生かして端末を生徒全員に持たせることができたし、回線整備も進んだ。現在は市内の学校同士や市外のような団体とつ

ながつての授業も行っている。」と語られたのが印象的でした。社会的授業見学では、生徒一人一人が端末を使いこなし、電子黒板で個人の意見を共有し、小グループによる話し合いも活発に行われていました。高梁市の教師に対して行ったアンケートではICTの活用によって子どもの意欲・積極性が上がると回答した数字が96.2%もあります。その数字を裏付けるように、子どもたちが積極的に授業に取り組ん



授業風景

でいた様子を目の当たりにしました。授業見学の後には、特別な支援を必要とする子どもへの対応、GIGAスクールによる先生の負荷、教育ソフトベンッセのミフィシードの内容、ノートとパソコンの比重、端末のフィラリング、行政面からのサポート要望などについて質疑応答と意見交換がありました。今回の視察は、中山間地域の教育において大きな可能性を感じた管内行政視察になりました。



GIGA スクールの研究説明

地域振興基金事業の概要

地域振興基金は「高梁市地域振興基金条例」に基づくもので、①新市の一体感の醸成に資する事業（新しい文化創造に関する事業等）、②旧市町単位の地域振興（地域行事・コミュニティ助成、伝統文化の伝承など）の目的で、平成16年の合併を契機に、合併特例債を原資として設置した基金です。最初は27億9千万円です。最初は27億9千万円がスタートし、18億6千万円が各まちづくり協議会への交付金に充てられることになりました。

ちなみに、合併特例債の償還（起債によって借りましたお金の返済）は令和4年4月をもって終了しています。平成17年度からしばらくは年間約1億円の事業執行が行われていましたが、令和元年の新型コロナウイルス感染症が蔓延する直前では約5600

万円、新型コロナウイルス感染症蔓延以降の令和2年度、令和3年度は約3千万円の事業執行となりました。平成27年度には、将来的に基金が枯渇する恐れがあることから、一般会計から1億6千万円を繰り入れ、また、①地域コミュニティに対する住民自治活動を平成26年度ベースで20年間継続すること、②地域の創意と工夫、判断と責任による時代に即した事業活動の展開を促進するため、地域活力創造事業枠として各地域まちづくり協議会に一律1億円を配分することとしました。なお、地域振興基金残高は令和3年度末で約7億7千万円となっています。

各地域まちづくり協議会の取り組み状況

各地域まちづくり協議会の聞き取りに当たっては、市街

地を中心とした高梁地域まちづくり推進委員会と有漢、成羽、川上、備中の各まちづくり協議会を訪問しました。どのまちづくり協議会も安心安全のための活動、環境美化活動、地域活性化のためのイベント活動などを行っていました。さらに、基金が目減りしていること、活動の担い手不足や高齢化に直面し、事業の見直しが少しずつ進んでいることが分かりました。特に人口減少に対して、まちづくり協議会が空き家調査に乗り出し、積極的な支援をしている地域、生活に密着した生活道の確保や避難訓練等防災の活動に取り組んでいる地域もありました。

今回の視察で、イベント中心から地域課題解決に取り組む地域の意識の変化と行動を学びました。